

グレア（まぶしさ）錯視は，まぶしくない（研究の
成果発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 上田, 誠也, 宮城, 拓弥, 吉岡, 大貴, 赤池, 早紀, 堀田, 英則, 石澤, 恵, 山田, 祐樹, 宮崎, 真 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00026648

グレア（まぶしさ）錯視は、まぶしくない

上田誠也，宮城拓弥，吉岡大貴（情報学専攻），赤池早紀，堀田英則，石澤恵（スズキ株式会社），山田祐樹（九州大学基幹教育院），宮崎真（学術院情報学領域）

アメリカ照明学会（IES）によると，グレア（まぶしさ）とは「強い光にともなって生じる煩わしさ，不快感または視覚性能や視認性の喪失を引き起こす感覚」である．“グレア” 錯視と呼ばれる視錯覚がある（Zavagno, 1999）．Tamura ら（2016）は，そのグレア錯視の効果を心理物理学的に定量化し，主観的な輝度が約 40%上昇することを報告した．しかし，そこで実験参加者が評価したのは“明るさ”であり，“まぶしさ”ではなかった．本研究では，グレア錯視による主観的なまぶしさを心理物理学的実験により定量化した．その結果，まぶしさが主観的に等価となる輝度は，グレア錯覚条件と統制条件のあいだで差がなかった．すなわち，グレア錯視は，主観的な“まぶしさ”を上昇させていないことが示された．グレア錯視を利用することにより，まぶしさを与えることなく，実際より強い明るさを表現できることが示唆される．

<既発表情報>

上田誠也，宮城拓弥，吉岡大貴，赤池早紀，堀田英則，石澤恵，山田祐樹，宮崎真，
“グレア錯視は本当にグレア（まぶしい）か？” 情報学ワークショップ 2018：地域とともに発展する情報学，静岡大学，2018年7月16日，（ポスター発表）．

上田誠也，宮城拓弥，吉岡大貴，赤池早紀，堀田英則，石澤恵，山田祐樹，宮崎真，
“本当にグレア錯視はグレア（まぶしい）か？” ，第16回情報学ワークショップ 2018，名古屋大学，2018年11月10日，p. 25，（ポスター発表）．

上田誠也，宮城拓弥，吉岡大貴，赤池早紀，堀田英則，石澤恵，山田祐樹，宮崎真，
“グレア錯視の“まぶしさ”：心理物理学的検証” ，日本基礎心理学会第37回大会，川崎，2018年11月30日—12月2日，p. 63，（ポスター発表）．